

第5回そうかりノベーションまちづくり構想検討委員会 議事録

■開催概要

日 時	平成28年5月20日（金）午後6時～午後8時20分
場 所	草加市役所第1・2会議室（西棟5階）
出席者	<p>委員長 清水 義次（㈱アフタヌーンソサエティ）</p> <p>副委員長 中村 卓（副市長）</p> <p>委 員 佐々木 誠（日本工業大学 建築学科）</p> <p>〃 米山 昌幸（獨協大学 経済学科）</p> <p>〃 染谷 勝之（有勝建築設計事務所）</p> <p>〃 長谷部健一（税理士法人L&Cアシスト）</p> <p>〃 野口 貴史（有恵登屋本店）</p> <p>〃 富永 悟（有トミナガ）</p> <p>〃 小野良一郎（㈱潤製作所）</p> <p>〃 今井 慶子（カフェギャラリー コンバージョン）</p> <p>〃 中山 加奈（㈱デিজーフレッシュ）</p> <p>〃 上原 美香（ガーゼショップアンジェ）</p> <p>〃 小林 勝治（総合政策部長）</p> <p>〃 曾合 吉雄（自治文化部長）</p> <p>〃 前田 明（都市整備部長）</p> <p>〃 黒須 俊之（建設部長）</p> <p>事務局 宮本 恭嗣（㈱アフタヌーンソサエティ）</p> <p>〃 高橋浩志郎（産業振興課長）</p> <p>〃 工藤 健一（産業振興課課長補佐）</p> <p>〃 夢田 章吾（産業振興課リノベーションまちづくり推進係長）</p> <p>〃 福嶋 祐樹（産業振興課リノベーションまちづくり推進係主事）</p>
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ（副市長） 2. これまでのまとめとそうかりノベーションまちづくり構想の骨子について（清水委員長） 3. 意見交換 4. ショートワーク ～ある日の草加暮らし～ 5. まとめ

■議事内容

1. あいさつ

中村

(副市長あいさつ)

前段でまちづくり協議会が開催されました。そして、これから協議会の密度の濃いご議論をお願いしたいと思っています。

いろいろな取組みを草加の方に進めていただいております。草加の旧道エリアを以前から宿場まつり、街グルinそうか等のイベントをしていただいております。先日の5月14日(土)から29日(日)まで「草加 Welcome Festival 2016」を草加の駅前広場等を使い行っていただいております。駅前にある8商店会の皆様と一緒に取組み、進めていただいております。本日もお見えいただいております長谷部さんが責任者として進めていただいております。本当にありがたいことと思っております。一つのお店、一つの商店会では、なかなか難しい案件でも繋がることで、パワーが出て、そして精力的に検討しながら、まちづくりをしていただいております。我々も負けずにまちづくりに取組んでいかないといけないと思っております。

今まで、リノベーションまちづくり、特に旧道沿道エリアの活性化については、リノベーションまちづくりとして進めさせていただいております。他にも様々な取組みを同時並行で進めないといけないということで、具体的にどのように進めていくかをお話させていただきたいと思っております。

旧道沿道エリアですが、草加市立歴史民俗資料館があるのは、皆さんご存知だと思います。草加駅を降りたって、草加を観光していただいて、立ち寄りやすいのは、草加市立歴史民俗資料館でございます。建物は、有形文化財に指定されている歴史のある建物です。草加をより良く知っていただくために、草加の歴史などを知っていただくような形でPRしようと計画づくりを進めております。

それから併せまして、おくのほそ道の関係、草加松原のエリアでございますが、現在、草加松原観光魅力アップ事業計画の策定にこれから入るわけでございます。これは、草加松原エリアに常設のお休み処をつくりまして、お出迎えをする。これは市民の方にも協力して頂いたり、コミュニケーションの場を作って頂いたりして、施設を考えて頂こうとそういったことを検討していこうと思っております。草加松原の遊歩道を夜間の照明というもので夜も安心して、良い雰囲気です歩いていただける様なものにして行こうと進めております。草加松原の歩道部分の拡充もしております。間もなく完成に近づいております。松そのものをより良い形で保存管理していく計画づくりを教育委員会の方で進めさせていただきます。松原の方にあります、草加市文

化会館。こちらは建築されてから約45年が経っております。県から譲り受け、非常に老朽化しております。その東側（隣の）体育館もかなり老朽化しております。まずは、文化会館をどうするかを検証しようということで、調査に入っております。これは、現在の文化会館を大幅に改修して、小区分化して使えるのかを、建て替えないといけないものなのか等を検証したうえで、その後の結果で進める段取りになっております。

旧道沿道のリノベーションまちづくりと草加松原エリアというのは一体と考えておまして、今から12年ほど前に国に地域再生の1号認定を受けました。今様草加宿地域再生計画の中で、国から採択していただいた事業の中で、一度区切りをつけたわけですが、事業としては続けております。

その中で、リノベーションまちづくりが進んでいくと認識を持ってまして、草加市としても特に草加松原エリアについては、文化会館の敷地は1.7ヘクタールあります。その南側に同じく1.7ヘクタールのまだ利用されていない敷地があり、今は暫定的に使用していただいています。市有地は併せて10,000坪の土地があります。これを上手に使いながら、どういう風に、歴史、文化、観光そして、賑わいを兼ね備えたことをできる限り、民間主導でどのように進めさせてことができるかという問題意識をもとに進めていただいております。

そのような中で5月12日（木）に、清水さんと岩手県紫波町で「オガールプロジェクト」という民間主導の公民連携事業を進めておられる岡崎さんという、まさにキーパーソンの方に来ていただいて職員の研修を行ないました。

ここでは、紫波町は盛岡市から近いところにありますし、また、近くには花巻市もあり、そのままにしておく空洞化が進むということでコンパクトシティ化を進めるということで、駅前に公共施設を集中させて、そこに民間の賑わいをつくる施設に集まっただいて、まさに紫波町の拠点として整理していこうと民間主導のプロジェクトで第三セクターと民間の様々なまちづくり会社が連携しながら、地元のノウハウ、地元の技術者のみなさま、地元の資材を活かしながら公共施設と賑わいを作る施設等の事例を紹介していただきました。

清水さんからは、「オガールプロジェクト」も大きな意味でのリノベーションであると説明を受けました。そういう認識を基に、我々もこれから皆様方が中心となって進めていただきたくりノベーションまちづくりを、草加市も含めて民間のノウハウを上手に活かしながら公共施設を建て直すうえで、活性化に努めていきたいと考えております。

今様草加宿と両方同時並行的に進めていく中で、草加の中心軸、草加の中

心軸とは草加市内には4つの駅がございます。4つの中で、都市軸という軸が駅周辺の縦のラインを中心に南北のラインの都市軸があります。特に草加駅から松原団地駅までは、まさに賑わい交流ゾーンということで基本構想にも位置付けておりますので、共通認識、共通目標の基にまちづくりを進めていければと思います。そして皆様と我々行政が連携しながら、東京にとらわれることのないまちづくりをしていきたいと考えています。

今までのまちづくりは、どちらかという東京に追いつこうとしつつ、東京にエネルギーをどんどん吸い取られたものが多く、東京に隣接しているということで草加は特にそのような状況だったと思います。今は、越谷のレイクタウンに吸い取られているわけですがそういう状況から早く脱皮できるようにしていきたいと思います。草加オリジナルのまちづくり、市民のパワー、民間のパワーを上手に発揮していただきながら、行政として様々な面で連携させていただきながら一緒になってまちづくりをしていきたいと思います。そうかりノベーションまちづくり協議会と構想検討委員会を進める中で、行政と民間が一緒になって進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2. これまでのまとめとそうかりノベーションまちづくり構想の骨子について

そうかりノベーションまちづくり構想検討委員会、回を重ねてまいりました。いよいよ今日は、めでたく「そうかりノベーションまちづくり協議会」という本気でリノベーションまちづくりを民間型で背負って走ろうと協議会が設立しました。これから市民の方々と一緒になって民間主導で、リノベーションまちづくりを本気で進めていこうという今日は大変記念すべき日だと思います。

さて、そこで今年度は、そうかりノベーションまちづくり構想を皆さんの意見を大いに反映させながら、先ほど副市長の中村さんのお話のとおり、草加のオリジナルな、まちづくりをどの様にきちんとした方向付けをしていくか大変大事な段階に来ております。さらには、来月の下旬に「そうかのまちの宝探し」トレジャーハンティング@そうかが行なわれます。皆さん積極的に参加して楽しみながら、草加のオリジナルな民間主導による公民連携のまちづくり、みんなで盛り上げていってほしいと思います。

今日は、そうかりノベーションまちづくり構想を検討するにあたって、前回3月22日にワークショップを行いました。これで活発な意見がだされまして、事務局側で整理してそうかりノベーションまちづくり構想の骨となる所、こんなような所を盛り込んだらどうだろうかという案を事務局側と私どもを含めまして検討しブレインストーミングをいたしました。

少しお話をさせていただきますので、これについて活発な意見をいただき

たいと思います。

○これまでの検討委員会

(そうかりノバージョンまちづくり構想検討委員会)

- ・平成27年6月22日にキック・オフ・ミーティングを開催
- ・第1回、第2回、第3回、第4回検討委員会を行なった。第4回目は、3月22日ワークショップ形式で、草加の「課題とその原因」「潜在資源」「必要な機能」「新しい産業」をこの街中に誕生させたらいいだろうか、こんなようなことの見解をいろいろグループに分かれ、わかりやすく面白い意見をたくさん出してもらいました。これをもとに全体を軽く構築してきましたのでそのお話からしていきたいと思います。

ワークショップでの意見のまとめ

○「草加市の潜在資源」

まずワークショップで出てきた「草加市の潜在資源」。実に様々なものがありました。草加松原を中心にした歴史的なまちが依然として、実はそういう要素がまちの至る所にあり、歴史あるまち、そういう面が歴史資源、文化資源が大事なものがあると思います。新たにまちをつくってもこういうものは生まれにくいからです。もともと古いまちがあって、その資源というのは大変大事なことであって、ここに着目する意見がありました。

それから東京に至近距離にありながら、都市型の農業が営まれています。

また、高速道路のインターチェンジの立地が草加ぐらい恵まれているまちは滅多にないです。車で草加を出る際は、いたるところ対してアクセスしやすい。鉄道もありますが、それ以外に高速道路立地というのは、確かに恵まれています。

物流の機能から見た場合でも、人を集めたり、出掛けたりするにも、交通の便は非常に大事です。もちろん、東京に近いメリットも当然ありますが、東京に近いことが良い影響ばかりではない。そのあたりのとらえ方はたいへん大事です。

活力ある女性の人材がたくさんいます。元気な高齢者も多いと思います。獨協大学が街中に近く存在しております。若い学生が近所にたくさんいるということは良い資源となります。このようなたくさん面白い資源ができました。

○産業

産業のところを振り返ると、まずは、地場産業として有名な草加せんべいがあります。草加せんべいという地場産業は、長期にわたってじりじりと衰

退しております残念です。他にも、地場産業の特徴のあるものがありますが、産業の中で言いますと比重が軽い比重に留まっているのが実態です。それに比べると第2次産業は、かなりしっかりした工場が存在することで、実は財政の下支えの点では大変に大きい機能を果たしている。産業を客観的に見るということは前々回の時にデータに基づき発表されました。

草加の産業の在り方は、どの様にしたら良いだろうと考える資料としています。

○暮らし方

暮らし方ところをみてみますと、

- ・働く場所は、東京に出稼ぎに行っている方が多い。
- ・食べる場所は、市内で63.9%ということになっていますが、近隣市人口10万人以上の、越谷市、三郷市、さいたま市、川口市、戸田市との平均値と比べるとこれらの市は、81.8%の方が市内で飲食をしている。それに比べると草加は、流出率が高い。
- ・遊ぶ（家族で買い物を楽しむ）場所は、もともと流出している。これは、越谷へは49.2%。市内はわずか20.6%、東京にはあまり行っていない12.9%。近隣市での平均値は66.2%の方が市内で買い物や遊びに行っている。草加はことごとく市外に出かけている。

大変面白いデータが出ている。休日の暮らし方をみていると東京へ遊びに行っているのではなく、越谷レイクタウン辺りを中心に新三郷等へ遊びに行っている方が多い。欲しいものがあって行っているのではないことが、だんだんわかってきました。

つまりこういうことがいえると思います。

「ほしいもの（暮らしの場）が東京にあるわけではない」

○ワークショップででた課題

ワークショップで出てきた課題を見ると

- ・とりあえず、ひととおり現在のニーズは満たしているが・・・。
生活の豊かさを感じられない！
- ・東京に近い（近すぎる）、アクセスの良さ
周辺にいけばいい
- ・以前から住む住民と新たに引っ越してきた住民

特に草加駅周辺は、マンションの建設ラッシュです。ご商売を行なっていた方の土地が比較的広い土地を所有していたために、ご商売をやめられたところの土地をデベロッパーが買収し、ここに新たなマンションを造

り、移住してきて新住民の方と以前から住む住民の方と交わら（交われ）ない。

- ・ 交流する場、行きたい店（場所）、用事がない
まちの中心がつまらない。中心部がつまらない。行く意味がない。
「本当に課題なのか」事務局側で話し合った結果でもあります。
それからワークショップの中でも本当の課題ではなく、
「結果であって真に課題となる原因があるのではないか」

○原因

- ・ 「家がある」、「職場(学校)に近い」という理由だけで草加に住んでいる。
寝に帰るだけのまち
- ・ 東京を中心とした周辺に仕事もあるし、買い物や食事をする場がある。
住民自身が草加に（何も）求めている
- ・ 以前から住む住民と引っ越してきた住民の
地元愛の温度差
- ・ 交流する場、行きたい店（場所）、用事がない
自らが属するコミュニティがない

○真の課題

暮らしの場が草加である必要性の欠如(必要性を感じていない)

○そうかりノベーションまちづくり構想

「寝るだけのまち＝ベッドタウンからXへ」
草加に暮らしの（草加らしい）場を創り出す。

○どんなまちに？

- ・ 人材の活用×不動産（公共・民間）の活用
- ・ 生活の豊かさを感じられる（実感できる）まちに
- ・ イベントから日常生活が楽しいまちに（イベントが活発に行われている）
- ・ 平日も休日も、昼も夜も楽しいまちに
- ・ 家族で1日過ごせるまちに（公園・飲食・マルシェ）
- ・ ずっと住み続けたいくなるまちに（生まれ、育ち、結婚し、子育てできるまちに）
- ・ 世代間交流できる場がいっぱいあるまちに（飲食・文化施設・公共施設）
- ・ 新しい働き方のできるまちに（女性向けの短時間雇用システム）
- ・ まちでお金を循環できるまちに

○どんなひとが？（活躍できる人）

- ・スキルを持った女性がまちを元気にする
- ・元気な高齢者がまちを豊かにする
- ・大学生（獨協大学生）がまちに入り、まちづくりに参加する
- ・都心（東京）ではたらく、すごい人たちのスキルを活かす
- ・補助金に頼らないで自立する住民
- ・自ら行動する住民・・・自分(自分たち)たちでまち(が必要)をつくろう！

○どうやって？

既存のものをリノベーションして魅力的なコンテンツを創造

○コンテンツ例

- ・都市型産業の集積・・・「消費型」から「生産型」へ
都市型農業（農に近い暮らし）、観光産業（宿泊施設・駐車場）、
インキューベーション（小さくトライする場）、コミュニティビジネ
ス、教育ものづくり(地場産業、アート、クラフト)の場、健康・医療・
介護産業
- ・衣食住のライフスタイル
おしゃれな飲食の場、学びの場、ペット産業、時間の消費、モノからコ
トの消費へ、シェアリング・エコノミー、情報発信、エコ(エネルギー)
- ・芸術・スポーツ
伝統の復権、新たな文化、健康志向、クリエイティブ産業
- ・人、企業、組織
地元 roots 人、企業、組織

目標として（事務局側の）

- ・補助金に頼らないで自立してやっていこう！
- ・自分（たち）のまちを自分（たち）で創ろう！
- ・コンテンツとは、目的を共有している仲間が集える場所（都市型のコミ
ュニティ）
- ・ライフスタイルに変化を作り出す。
コンテンツとはワークスタイル(働き方)やライフスタイル(暮らし方)を
変化させるもの（寝に帰る場所だけではなくする）
- ・どこから入っていてもよいのですが、
コンテンツの創造→コミュニティの創造→ワークスタイル（働き方）の
発言が起きてくるやり方も可能です。ライフスタイルから入っていき、
コミュニティが作られて、新たな働き方が作られる。どのような順番で

も構わない。この辺りから入っていく形が生まれるとすごく楽しいまちが生まれると思います。

(行政の方々も、民間の人も含めて) まちづくりを自分ごとにするが大事だと思います。

○具体的に考えるために

あなたの理想の「ある日の草加暮らし」を書いてみてください。

今日皆さんにこの後の時間の中で、A3版裏表の配布させていただいておりますこの中で、考えて欲しいことがあります。まちづくりを行なった結果、5年後ぐらい、草加のまちで、自分たちが平日、休日どんな過ごし方をしているか朝起きて、寝るまでのどんな風に過ごしているまちになるだろうかイメージを時間割の中に、平日と休日を埋め込んでいただきたいと思います。これがまちづくりの本当のイメージです。自分がどんなまちにしたいのかを平日と休日の自分の時間の過ごし方を書いてもらいたい。今日は課題が与えられています。もっとも素敵な暮らし方を選んだ人がいたら、それを実現すればいいと思います。自分が5年度どの様な生活を草加のまちなかでしているか。

それが皆さん自身の暮らし方のセンスを探るペーパーです。若い方は若い方、年配の方は年配の方、どういう暮らし方を自分がする草加の街暮らしがあるのかを細かく書いて欲しいと思います。そして草加のまちが目指す形が一枚の紙にまとめると、皆さんのお手元に配布してあるこんな形です。草加の新しい暮らし方それはどんな人たちがいろんな人たちと混ざり合いながら新しいまちのコンテンツそれを生み出しながらどんな暮らし方や働き方やどんなまちのコミュニケーションを取った楽しい暮らしができてくるだろうか、こんな風なことを描いてみたらどうかと思います。それを実現する仕組みは皆様にお話をしているとおりです。

○目指すカタチ

・草加の新しい暮らし

元都心通勤者+大学生+ひと(おもしろい)+製造業+地場産業 →

新しいまちのコンテンツ(産業)→新しい働きのできるまち(生産⇔消費)

「ヒト・モノ・コト・カネの循環」ペット産業・ツーリズム・都市型農業・新業態飲食・アート&クラフトなど→新しい暮らし方のできるまち(ライフスタイルの変化)

新しいコミュニティの創出(どのコンテンツから入っても、順番はかまわない。新しいコミュニティができれば楽しいまちになるとおもう)

○実現の仕組み(実現するための仕組み)

■不動産所有者（民間・公共）

志を持つ所有者による遊休不動産の提供

- ・不動産を使ってまちに貢献したい
- ・不動産価値を維持・向上させたい

■家守会社（民間自立型まちづくり会社）

補助金に頼らない、民間自立型事業による構想の具現化・コーディネート

- ・エリアマネジメント
- ・まちに投資
- ・不動産マッチング
- ・事業企画、運営、転貸

■起業者事業オーナー

草加市に新たなコンテンツを生み出す人・企業

- ・豊かな暮らしがしたい
- ・ビジネスを通じて、まちに貢献したい

不動産オーナー、家守会社、事業者、教育機関、行政等がフラットに集まれる場、環境づくり、都市を再生する都市政策と具体的な再生戦略の作成
(=そうかりノベーションまちづくり構想)

質疑応答

ワザンバー

・ 11 ページに「草加である必要性」ということが有りますが、それは本気なことだと思えますが、その中では、16 ページにコンテンツの例で都市型産業とか記載がありますが、もう少しイメージしやすいと草加らしさというのが見えてくるのかなと思う。都市型農業というのは、チャヴィペルトさんをイメージできますが、観光産業というと草加松原ことをいっているのかな、宿場の旧町あたりのことをいっているのかなと思う。

長谷部
委員

・ 3月に第4回の検討委員会がありまして、参加された方と話をされていて印象残った言葉がありまして、少しお話をしたいと思えます。今の先生の話聞いていて観光産業。その方は、草加駅の近くのマンションに住んでいて、都心に勤めに行っている方で、まさにベッドタウンとしてしか使っていなかったけど、まちづくりに興味を持って、リノベーションに参加するようになった。その方が言っていたのは、自分の感覚で言うと、草加ってもっと潜在的なものが有って行きたいなど、先生がおっしゃった通り宿場町としての高速道路も通っているし、また鉄道も南北に通っているし、そんなことを踏まえて東京で一泊、草加で3泊どうということかなと考えたら、今海外からお見

	<p>えになる観光客が2千万人。安倍首相の2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに2千万人までにしようと言っていました。早くも達成されている。当然そうになると羽田空港や成田空港に降りた外国の方は、とりあえず泊るところを東京のどこか探して1泊する。でも、東京は高い、そして宿泊施設は足りなくなる。草加というのは立地条件として最高じゃないかとおもう。東に行けば、筑波山。西に行けば秩父。北に行けば日光。南に行けばスカイツリーがある。立地条件が最高なので、観光都市化にするのであれば、宿泊施設を設け、おもてなしの心で、たくさんのお客様が着いていただけるように、草加で3泊していただいて、ここを拠点にさせていただいて観光をしていただけるようなまちづくりをしたら面白いのではないのでしょうか。私もそれを聞いていて、そのあといろいろ考えていて、いま、民泊というのがあります。法律に反するところもあると思いますが、草加市内は今宿泊施設が足りないです。いくつかホテルや旅館がありますが、いつもいっぱいですということお客様が着て欲しくても宿泊するところがないと来てくれないんです。そういった意味で宿泊施設とか観光バスが止まれる駐車場がこれから草加にとって必要じゃないかと思えます。ポイントは旧町と草加松原の賑わい交流ゾーンで副市長もおっしゃっていましたが、草加にとって大事なキーポイントと考えております。</p>
<p>中山 委員</p>	<p>・先ほどの長谷部さんのお話で、民泊の関係で、最近法律が緩和されたお話があるとおもうのですが、詳しい方いらっしゃいますか？あまり知らなかったなので、ご存知の方はいらっしゃいますか。</p>
<p>佐々木 委員</p>	<p>あまり詳しいことはないのですが、学生さんと住む住まいのことで話したことがあるのですが、民泊というのをもともと住んでいた住空間を活用した場所を宿泊する場所・施設にする。法律上は、建築で言えば住宅と宿泊施設は、用途が違うので区別され、場合によっては建築確認申請が必要ですし、旅館業法がありまして、営業して料金をいただくとそれなりに法律の規制が掛かってくると思う。先ほどもあったように、外国の方がたくさん日本に来る中で宿泊施設がすでに足りなくなっている。もっと足りなくなるので国としても、住宅を宿泊施設として活用しようということで議論が活発にされているという新聞等で報道されているのが現状です。まだ、実情としては前向きに検討されている状態の中で、今は、特区で大田区と大阪市で7日以上であればいいとか言っているのですが、実際7日以上宿泊というのは現実的ではないので、実際は2泊、3泊で潜り行なっている。民泊紹介サイトのエアビーアンドビー等を通じ民泊が行われている。（例：北千住で検索する</p>

<p>清水 委員長</p>	<p>と10件ぐらいでくる。) 将来的には、法律が整備されると思うのですが、現在はグレーゾーン、ブラックに近い形で行われている。</p> <p>・今日は、獨協大学は現役の学生さんがお見えになっていると思いますが草加に住んでいらっしゃる方がおりましたら発言をお願いします。</p> <p>獨協大学は、教職員さんを合わせて1万人位おられるとおもいます。普通は学生街ができるとおもう。草加はなぜ学生街ができなかったのか？学生街がないのが草加で、獨協大学の学生さんが日常どういう生活、行動をしているのか、どこにどういうものが草加にあれば学生生活に活かされていくのかをお話しいただければと思います。</p>
<p>学生 ワザバー ①</p>	<p>草加市内で、足りないと思うのは学生ならではの、近くにライブ施設であったり、遊び場所が足りないということが多くでできます。シーエスブイさん等で、学生はコーヒー等が無料で飲めたり、学生が集える場所が少ないのが課題だと思います。</p>
<p>学生 ワザバー ②</p>	<p>今の会議のお話を聞かせていただいて、先日秩父の観光センターに行き民泊を秩父の方で実施しようとしているお話をお聞きしました。民泊のアイデアはすごくいいと思ったのですが、草加を観光センターにしまして、草加市には観光資源が豊富ということがわかりました。その際にPRという部分が足りないと思ったので、まずは、民泊なので、民泊施設を作ったとしても、草加市に来たいと思う方が少ないので、PRが先なのかなと思いました。</p>
<p>学生 ワザバー ③</p>	<p>秩父の観光センターに行かせてもらって、観光資源というのは、草加には眠っていたり、隠されていたり、自分は獨協大学(草加)に3年通っていますが、観光資源がなかなか知れなかったのが、PRの仕方が重要なのかなと考えています。あとは、映画館ですとか、たまり場になるようなところがあればいいと思います。</p>
<p>学生 ワザバー ④</p>	<p>平日は大学で授業を受けたり、卒業制作の研究などを行っています。草加市から電車で大学に通っています。東武動物公園駅を利用し、宮代町の大学まで通っている学生もいます。日本工業大学付近での学生街がありますが、草加市内には、学生街がないので呑みに行くのはさみしいじゃないですか。草加市に住んでいる僕としても、獨協大学生や他の大学に通っている学生のためにも学生街があるのかなと思います。観光資源がまだまだ眠っているとおっしゃっていましたが、リノベーションまちづくりの資料を見ましたけど、</p>

	<p>例えば、草加市の潜在資源がありますが、埼玉県は、アニメの舞台になっている場所が多いと有名でして、例えば久喜市鷲宮「らき☆すた」では鷲宮神社が舞台となって有名で、秩父では「あの日見た花の名前を僕たちはまだ知らない。」の舞台で有名になっている。草加市は、近年でも草加市を舞台としているアニメも草加の名所とか出てきているので、草加市でも潜在資源としてアニメの舞台を活用したまちおこしをしてみてもいいかな。</p> <p>草加でも埼玉県内が舞台となるアニメがあるので、アニメを使ったまちおこしをしてほしいとおもっております。</p>
<p>学生 ワザバー ⑤</p>	<p>僕は、草加を知らなくて、大学に入るために埼玉で一人暮らしをし始めて、3年目になります。今回は、卒業制作の卒業設計の題材として草加の旧道エリアを卒業設定の舞台として参加させていただきました。色々な意見を聞いておりますけど、ひとりひとり違った立場、姿勢とか年代とか、職の違いによって意見がバラバラなのでそれをまとめる力が必要なのでそのような方が、トレジャーハンティングがあるので、大事にして行っていただければ、もっと面白くなるのではないかなと思います。</p>
<p>学生 ワザバー ⑥</p>	<p>草加のことは詳しくないのですが、施設が少ないということなので、ラーメンとかカフェとかを巡るとか、ラーメン食べ巡りみたいな感じで出来ればよいと思う。</p>
<p>学生 ワザバー ⑦</p>	<p>台湾から参りました。草加のことはあまりよくわかりません。宮代町から来ています。外国人としての考えは、自分が住んでいる町は1年に1回国際運動大会があります。宮代町では、ほかの都市に住んでいる学生や留学生の方のとの交流会もあります。休日は、カフェとか、学生向けのゼミ室みたいなものが有ればあればよいと思う。</p>
<p>学生 ワザバー ⑧</p>	<p>私も草加のことは分からないのですが、周りにいる友達が草加を舞台にしたアニメを見て、草加に来てみたりしたりしたことがあると話を聞いたので、セットが少ないのであまりないのでは学生向けではないと思う。そのあたりを取組んでいただければよいまちづくりができると思う。</p>
<p>ワザバー</p>	<p>転任してきてから約20年位住んできました、基本的に消費者として住んできたかなと思う。物価が安い。暮らしやすい。素敵なお店とかもあり量販店に比べて食料品とか安いお店もあります。長栄町に住んでいまして、さくら並木もありますから、散歩したり、ジョギングをしたりしています。先ほ</p>

ど、外に出る時のアクセスが非常に良いというはなしがありまして、実感しています。休日とかまとまった休みがある場合は高速道路を使って、電車とかであちこち行けるんですよ。しかし、問題は草加が大好き。地元愛というのがキーワードであったと思うのですが、まだまだそこに行かない。消費者であり続けているし、間口を見たときにインターネットとかアプリとかかなり、コンテンツとかキーワードがありますが、デジタルの空間で、いっぱいあるんですよ。そうすると家にも楽しくなってしまいます。外に出なくてもいいと思ってしまいます。このようなことなので、地元に行らっしゃる方も共有しようと思ってなかなか共有が難しい。どうすれば良いのか、①子供を連れて行った時に面白いものが有る。②居心地が良い。この二つが重要だと思う。この会に、初めてきましたが、これまでの4回、5回の中でどのようなご意見が出たのかわかりませんが、ディスカッションというのは、テーマに沿ったアイデアの交換は良いと思いますが他のまち、街並みで、成功している事例があります。近場で言うと北千住駅西口の宿場町通りがあるのですが、根性の入った飲食店があって、私も飲食店が専門ですので、私もやりたいといったのですが、根性の入った店は、美味しい。そういうのが集積としてありまして、草加にはないわけじゃないですが、地域内にポツンポツンと離れているので、行って食べてすぐ終わり、そこに留まりたいと感じない。街を歩かないで終わりになるという街。上野からちょっと歩るいて西日暮里まで行くところに、谷中という有名な古いまちがあります。あそこだと夕方凄く賑わっている。地元の人は、ずっとあの街に住みたいという感覚があるから、半分は観光の顔もありますが、あのような場所に行く楽しいと思うから30分で引き揚げようと思わない。3時間でも、何日も居たくなってしまう吸引力がある。観光のまちではありますが、中身を見るとIT企業などがいっぱい移り住んできてそこで仕事をしている。彼らがいる場所は飲食店で、居心地が良くて、いろんな意見を交換している。だから発展をする。だから他のところで成功しているコミュニティとか街にも学ぶというプロセスを入れていただければ具体的な姿が見えてくるのではないかと思います。

上原
委員

先ほど観光物産センターに行かれたという話をお聞きしまして、私もイベントで利用させてもらっているのですが、元々市役所の管轄だったのがアコス株式会社という話で、イベントやっているのにのぼりを立ててはいけないとか、賑やかにやる光景を断られることが多い。その使い方というのがどうなっているのか。これから変えていく気持ちがあるのか知りたい。

中村 副委員長	<p>市が指定管理をしているので市役所のルールで行なっていると思います。そのようなことを行なっているのであればすぐに直させます。</p> <p>指定管理という話がありましたけれど、二つありまして、使用料を市でいただく場合と指定管理ということで負かっている場合があります。アコス株式会社で使用料をいただいて、円滑に運営できるよう民間の力を発揮してもらおうということになりますので、のぼりの件については確認をしますが規制をしていないと思います。ただし、東武鉄道ですとか、交通の部分とかがありますので制限はあると思います。屋内ですとチャレンジショップとか色々ありますので、他の作品等を隠すということはどうなのかなと思います。場所が非常に狭いところですから限られてしまう。</p>
曾合 委員	<p>学生さんからもあったと思うのですが、みなさんに聞きたい点がありまして、「気になる」という言葉がありました。私どもは観光等があり「PR」という言葉があつてすごく大事な言葉だと思います。色々なツールや手段、やり方があり、そのような中で、私は、草加のこれを宣伝したい、こういう手段で宣伝をしたいということが一つでもあれば教えて頂ければありがたい。私どもは、せんべいや産品などいろいろあると思うのですが、SNSでうさが住んでいるまちだとかにネットをかえて旅行客が行っているという話がありましたから、小さなものでもよいのでそういったものを教えていただければと思います。</p>
今井 委員	<p>PRについてですが、少し勉強不足で、草加せんべいや浴衣に関してですが、草加というと浮かぶのがおせんべいで、たまたま昨日SNSのインスタグラムで、草加せんべいで検索をしたら、こんなおしゃれなせんべいがあったんだというものが結構あげられていた。それは、草加市民があげられているものではなかった。それを草加市に住んでいながらも、こんな素敵なパッケージのせんべいがあるんだとか、ギフトがあるんだとかを知らない。知らなければ外に情報発信もできないのかなと強く思った最近です。</p>
上手 がザバー	<p>先ほどから聞かせていただいており、せっかく、今日このまちづくり協議会が発足しました。ずっと聞かせていただいて、恐る恐るまちづくりをやっているイメージがあり、自信がないように感じられる。やはり、草加は先ほどから言われているように、もう少し自信を持ってやらないと、どうだろうどうだろうと心配しながらまちづくりをやっていると進んでいけないような気がします。若い人たちの意見を大いに取り入れれないとならないと思います</p>

し、その辺が私はおかしなと思っております。東京に通っている人たち、朝晩道であっても挨拶ひとつできない状況が非常に多いです。特にマンションの方そういう人たちに、せめて朝夕会った時にあいさつができるような状況にまずして、そうすれば当然、草加にも愛着も多少でも慣れてくるし、私の町会でそれを実施して上手くいっている。自信を持ってそういうものにも取り組んでいていただくことによって、なお草加を発展させていただきたいと思えます。

事例なのですが、弘前大学の前に会社を作っておりますが、弘前大学の教授が東京に泊るより草加に泊ったほうが安いし、筑波大学に行くのにも楽なんだと、ただし泊るところが非常に少ないんだと話をしている。でもやはりできるだけ草加に泊るようにしますと言ってくれた。当然地方から来て先生たちがそういう話をすれば、生徒たちもそういう風になるのかなと思っております。同じ悩みを浅草も持っているとおもう。スカイツリーに来たお客の3割は浅草に行きたいという考えを思っている。なんとかしないといけない悩みを浅草にも持っている。もっと草加は、もっとそういうところに力をいれなければならない。条件としては浅草の方が良いはずですから。それはそれとして自信を持ってまちづくりをやっていきましょうよ。そうしないといつまでたっても進まないと思えます。

野口
委員

今日は学生の皆さん、すごく若々しいメンバーが前にいらっしゃりに参加していただいて、自分も54歳になのですが数十年前は私も学生をしておりまして懐かしいなと思っております。諸先輩方の中に何か楽しいこととか、居心地の良い部分とかが一つのキーワードとしてでてきていたと思うのですが、私が思うには、人間の要望というか、嬉しいですとか楽しいですとか面白いこととか、年代によって違ってくるとおもうのですが、昨日できなかったことが今日できるようになったり、昨日気付かなかったことが今日わかるようになったり、その部分が人として一番嬉しい時なんだと個人的に感じている。それは人それぞれの価値観の中でしょうけど、このリノベーションまちづくりで最初に話したのですが、ずっと先輩方が草加のまちの再開発をいろいろ活性化させていただいて、それをもう一つ改新してできる可能性があれば自分にとっても楽しい人たち、生き甲斐を感じるだろうなと参加させていただいております。PRというキーワードが出てきましたので、ひとつのPRをさせていただきたいと思えます。我々の中で家守会社を法人組織として立ち上げて行っております。その内容は何なのかというと、やりたいことはいろいろあるのですが、1つ目の案件は、私の家は酒屋でありまして、場所があるんですよ、そこで1日店長の店というのを計画しています。それほど

うということかといいますといろいろお店をやってみたいね、私たちのワークショップも売ってみたいよね等いらっしゃると思います。その時に店を1つ構えて行こうのがなかなか大変です。可能性なりスキルをアップしていきたいといった時に、1日で借りられる店があったら面白いのではないかと、1日ごとでステップアップしていただいて、飲食を中心にして行って、1週間に1回、1週間突き通してやっていくというようなスペース、チャレンジできるスペース。失敗しても、思い出程度の失敗で済めばやっていけるような1日店長の店を企画している。その中で学生さん達を含めて居心地のいい、私が学生の頃とは時代が違ってしまっていて、学生さんはどういう生活をしているのか途中で、ある日の草加らしさということではあると思うのですが、ひとつこちらの会にどんどん出て来ていただいて、意見を聞かせていただきたいと思います。学生さん達ならではの私たちこのようなことをやってみようことがあればPRしていきますので、ぜひ手前でも運営していけるようになりましたら1日店長の店を活用して青春の1ページに楽しい思い出に加えてまいりたいと思います。

黒須
委員

道路に関してひとつ、道路を活用する方法があります。道路というと車が通るところというイメージがあると思いますが、実は草加駅前の東口も西口もロータリーの歩道のところがありますあそこは道路なんです。あそこをうまく活用する方法があるのではないかと我々が考えております。ただ、ひとつルールがあります。道路は通行を評するものですから、人が通るのに邪魔をしてはならない。ある程度の幅をとって安全が確保できれば空いたスペースであれば自由に使って結構です。使いなさいと国から通達が着ております。アイデアとして一つとして盛り込んで、お店の前の道路も可能です。そうするとより広く使えると思います。そういったアイデアも一つ盛り込んでいただければと思います。先ほど、草加市物産観光情報センターの件があったのですが、禁止しております。なぜかと言いますと草加市、立て看板とかノボリとかいろんなお店の方が道路に出してしまっており、通行に支障が出てしまったのでそれを取り締まるということで、立て看板とかノボリの一斉撤去をした。その時期に重なっていたのではないのかなと思います。

中村
副委員長

駅前のイトーヨーカ堂側はかなり広いこうせん空間があります。もともと広場にしたい。色々なイベントができる場所にしたいということであえて広いこうせん空間を広く取ったのですが、長年自転車置き場になっておりました。これをどうするかということで、ラックを作っている時間を過ぎると使用料をいただく形にしました。放置自転車がなくなりました。ところが次の

	<p>強敵は警察でして、現場の警察官の方がノーという方ですとうまくいかなく行ったり来たりしてきておりました。もう方向性が出たという話を聞いておりました、確定まで行っておりませんが、あそこをできる限り常時いろいろなイベントができるような賑わい空間として活用できないかとその場合には凸凹がありますから設えを変えていくことを考えています。</p> <p>そのほかに以前からお話をいただいているとおりに旧道、旧町の方も細い内路を上手に使いまして、そこを賑わいの場所に、狭いから良いと部分もありますので、そういったところもセットでリノベーションまちづくりは考えていきたいと思います。</p>
<p>中山 がザバー</p>	<p>中村副市長のお話を伺って、カーソン広場の再開発をするといことで、過去にあそこでイベントを行なおうと思って、いろいろ相談にあがった時にアコスの中に入っているテナントの方からクレームが来ると。個人で入られているテナントさんからは大丈夫なのですが、大手の外出チェーンそういったところからのクレームが結構あると伺っているのですが、それとの整合性とかは行政の方もイベントを行なうのであればその辺を協力してくださいなどの等は行っていただけるのでしょうか</p>
<p>中村 副委員長</p>	<p>イトーヨーカ堂とかマルイさんからクレームが来ることはないと思います。私がいた時期、4年間アコスの管理運営を行っていた時はありませんでした。物販とか行なうと専門店を含めていろいろとあるので、そこは近隣の商店会と一緒に、協議会みたいのを作って、そこが全体を調整しながら、上手に使っていただくということでわけへだたりなくどういう風に行うかは、行政が判断するというより、近隣の商店会の方が入った形で協議会を作っていただいて、そこで行っていただくような仕組みができるとうれしいなと思います。</p>
<p>長谷部 委員</p>	<p>今の中山さんのお話から協議会というお話がありましたが、実は、今年になって草加駅東口活性化協議会を立ち上げまして、どういうものかといいますと、今まで草加駅旧道近辺で商店会が昔からあるわけですね。市役所通り商店会、アコス通り商店会、高砂緑の街商店会、住吉商店会、草加中央銀座商店会、私は、草加駅前一番通り商店会、一番向こうが六丁目商店会で8つのどの商店会があった。地元の商店会は商店会で、宿場まつりを行ったり、いろいろ活性化するイベントを行なっています。大型店舗のすぐ隣ヨーカ堂やマルイ、東武鉄道のヴァリエというのは別の動きを大企業の方で動いています。</p>

なかなかには、一緒に行動はできなかつたのですが、草加市の商業の地盤沈下。毎年、売上が5%位下がってしまっている。何とかしたいということで周りの商店会と一緒にやりたいということで協議会ができました。そして5月にさっそくイベントを行ないました。5月14日から始まって22日までのイベントを草加駅東口でかなり広範囲で行ない、私のところの一番通り商店会、西友のところの高砂緑の街商店会と駅前と色々なイベントを行ないました。そういったことを初めて行いましたけど、ネーミングを草加ウェルカムフェスティバル。どういうことかといいますと本来は4月にやりたいということなのですが、獨協大学の方では学生さん新しく新入生が4月から入ってきますよね、どこで食べたらいいのか、どこで買い物したらいいのか、どういうポイントカードがあるか、なかなか情報が得られないということで、できれば草加駅の方に来ていただいて買い物をして草加に慣れ親しんでいただきたい。歓迎する意味でも学生さんだけでなく、新しく転勤してきて住まれる方を歓迎する草加ウェルカムフェスティバルというものをやります。これが成功すれば、一つの事例として先ほど中山さんからお話が有ったことも草加駅東口に関しては、草加駅東口活性化協議会の方で窓口になり、行政とマルイさんとヨーカ堂さんの間に立って調整をして、地元の商店会も栄えるし、大きな店舗もお客さんがたくさん来て喜ぶという形のまちづくりをしていきたい。リノベーションとは別のキーですけどやっていきたいなと思っています。草加駅東口活性化協議会の会長を私が行っておりますので併せて進めさせていただきます。

●ショートワーク「ある日のそうか暮らし」

(事務局)
宮本

皆さんが近未来の草加で、どんな暮らしをしたいか朝起きて寝るまで平日休日どんな過ごし方をしたいかというのを時間が限られておりますが、できるだけ具体的にイメージをしていただいて、妄想を膨らませていただいてその中にコンテンツ、こんなものがこんなお店に行きたいですとか、こんな場所でこんな方と交流をしたいとか、できるだけそういうことを具体的に時間帯とか場所とか内容とか出会う人とか具体的に書いていただきたい。それが実現できるかどうかというのは、今の段階では特に重要ではありませんので、できるだけ妄想を膨らませて下さい。横に少しこんなイメージですと私の妄想も充分ではないですが記載をさせていただきます。これに捕らわれる必要はありません。あとで事務局の方で取りまとめて、次回以降お披露目すると思いますので、支障がある妄想は控えていただいて、自由に書いていただければと思います。

学生さんもいらっしゃるので若い方も、こんな草加だったら自分たちも大

	<p>学卒業した後も草加に住み続けていいなと思えるようなイメージを書いていたいただければとすごく嬉しいなと思っています。</p> <p>【ショートワーク記入時間】</p> <p>皆さんお疲れ様でした。思う存分書けましたか？自分の平日休日の過ごし方がどんなまちになったらよいか、イメージして思う存分いただき書けましたか。どんなまちにしたいか発明するかが、草加のまちを変えていくことに、この中に凄く素敵な暮らし方をイメージして書いた方が何名かおられると思います。それをぜひ草加のまちづくり構想の中に、こういう暮らし方をする草加のまちがやがてできるのかなという例としてぜひ皆さんの中に面白い考えを採用したいと事務局側は考えております。</p> <p>まちづくり推進協議会が設立して、民間の方々先ほど会長からもお話が有りましたが、自信を持ってバリバリ多少のリスクは背負ってあと戻りできるぐらいのリスクは背負って、まちづくりをどんどんプロジェクトとして進んでいって欲しいと思います。構想は絵に描いた餅を描くわけではありません。皆さんの力で実際のプロジェクトとして、それを手で触れる手で見れる中に入れる形にして皆さんがお書きになられた5年後ぐらいの草加のまちなかの暮らし方が実現できるようにしていただきたいと思います。今日は本当にありがとうございました。</p>
事務局	<p>○本日の検討委員会の中でもお話が出ておりましたが、民間が主導する形で、リノベーションまちづくりを推進する目的で協議会、そうかりノベーションまちづくり協議会の設立総会が開催され、設立されたところでございます。当協議会の会長に就任されました長谷部より概要等につきまして皆様にご案内させて頂きたいと思っております。</p>
長谷部 会長	<p>今ご案内のとおり、草加リノベーションまちづくり協議会が今日無事設立されました。今まで皆さんと一緒に勉強してきたことを実践する部隊としてこれから具体的に進めていきたいと思っております。</p> <p>これから草加の街も面白くなってくるのではないかと思います。</p> <p>私が会長を務めさせていただきます。</p> <p>副会長と担当部会をご紹介させていただきます</p> <p>家守部会を担当する副会長 野口貴史さん、部会長 中山拓郎さん</p> <p>不動産部会を担当する副会長 木村さん、部会長 五十嵐さん</p> <p>金融部会を担当する副部会長 富永さん、部会長 河合さん</p>

	<p>大学連携を担当する部会長 村上さん、部会長、小野良一郎さん 監事 大久保啓介さん、山口昭人さん 顧問 染谷 勝之さん、 相談役 清水さん</p> <p>ぜひ、皆さんに積極的に参加して頂いて、いいアイデアを頂きながら草加が 住みよい楽しいまちになって行けばよいと思っています。 ご協力をお願いいたします。</p> <p>今後の取組について</p> <p>・金融部会</p> <p>何を始めるにも元手が必要ということで、新たな事業を始めたいと思っ ても資金が必要といった若い起業家さん達によりよい金融物件、融資物件等 を紹介できるような取り組みをして行きたいと考えております。これからいろ いろ若者、若い起業を育てていきたいと言ったような優良企業の出資をして くれるような業者さんを紹介しながら資金繰り等ができるようなことを作っ ていきたいと思っております。</p> <p>・家守部会</p> <p>新しい夢と一緒に見れるような、特に今日ご来場頂いている皆様の仲間 こんな人にこんなことを参加してもらおうと違った角度からもっといろんなも とがみえてくるのではないかと、若い人も会社をリタイアした人も昔取った杵柄 ではないですけど色々なスキルを持っているなど人脈の情報を私のところに 情報を集めて頂ければ、草加の力になれるように一緒に取り組んでいきたい と思っています。</p> <p>・家守部会長 中山</p> <p>去年の秋に、私もまちづくりのユニットに入って検討してみたんですけ ど、今までは自分の会社の中だけで利益だけを考えてやればいいかなとおも っていましたが、実際参加してみるとそうではなくて、いろいろな人が係わ る中で、いろんなまちづくりの方向性だとか、そこに住んでいる人、事業を する人で、なによりも、まち自体が元気になることが実現可能なのかなとい うことでお手伝いすることになりました。今回のトレジャーハンティングに エントリーしました。やってみるとリノベーションが良くわからないなと思 う方がたくさんいると思いますが無料なので一回飛び込んでみてください。 そうするとこの中でいろんな人たちがいるので、その方と話すことによって 自分が思っていること話して頂ければ、いろんな角度からいろんな意見が飛</p>
富永 部会長	
野口 副会長	
中山 部会長	

<p>村上 副会長</p>	<p>び込んできます。自分がやりたいことの整合性が取れたり、違った方向が生まれてくる中で、まちづくりが考えられるようになります。ホームページからエントリーができますからエントリーしてみてください。</p> <p>・大学連携部会 村上</p> <p>大学連携、高齢化が進んでいる日本においては、大学生は夢や希望の象徴なんだろうと思います。大学生は必ず歳をとらない。夢や希望を形にできるのが、この草加のリノベーションまちづくりに参加すれば夢や希望を持てるそんなステージになればと考えています。日本工業大学の佐々木先生にはこのプロジェクトを立ち上げる時から献身的にご協力いただいておりますので実際には来月からリノベーションまちづくりに協力をいただけるお話もありますのでプロジェクトが動き出すのかなと思っております。獨協大学の学部長の先生件もありますし、具体的に進めていきたいと思っておりますのでご協力をよろしく願います。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>以上で、第6回そうかりノベーションまちづくり構想検討委員会を終了とさせていただきますが、情報共有として、この場でご案内したいことがある方がいらっしゃいましたら、ぜひ、この機会をご利用いただければと思います。</p>
<p>米山 委員</p>	<p>トレジャーハンティングでは、学生スタッフですとかボランティアで何人かご協力できればと思っております。また秋の本番ですね。できるだけ会場をご協力できればとおもっているところですが、いろいろ事業が立て込んでおりますのでご相談させて頂きたいと思っております。告知ですが第4回まで私と一緒に参加しておりました学生を含めて4名が5月28日（土）に関東地区フォーラムといいまして日本青年会議所主催の大きなイベントで地域活性化を考える会が立川市行われますので、獨協大学4人が出るので公表をさせて頂きたいとおもいます。少し遠いですがぜひご関心の方はチラシをご用意してありますので帰りの際にお持ち帰りください。</p>
<p>上原 委員</p>	<p>ママたちを集めて正社員につけないが、少し仕事をしたいという方をなどの活動の場、ママフェスなどを行なっています。越谷レイクタウンで6月22日、7月4日に越谷レイクタウンをどうしても借りて行ないます。レイクタウンのお客様を当てにしているところが少しあるのですが、こちらが草加市内で行なっているハッピーマルシェといいまして、20名位の団体になっています。この日も8名、9名方を募っています。興味のある方はいらしていただければと思います。チラシをおいて頂いたり、貼っていただける方をいらっしやいましたらよろしく願います。</p>

<p>松村 ワザバー</p>	<p>3 ビズ 知らない方もいると思いますので簡単に3ビズのことを紹介させていただきたいと思います。 私たちの月3万円ビジネス昨年8月から、草加市主催の講座で私たち若い女性がメインでわくわくすることや自分が好きなことを仕事に変えていこう内容で講座は11月終了しました。卒業後にそうかぞくという団体を立ち上げて活動をしています。いまのマルイの3階に拠点を構えてアンテナショップを行なっています。その告知です。5月22日にウエルカムフェスティバルがあるのですが、同時開催でマルシェをやらせていただきます。そうかぞくが主催で行ないますのでチラシをご用意させていただきましたので帰りに配布させていただきたいと思います。お時間がる方はお越しいただければと思います。場所は、TSCボードステージになります。草加駅東口ドコモショップの前になります。楽しいマルシェを行ないます。</p>
<p>大串 ワザバー</p>	<p>新田の駅前でツネという喫茶店を行なっている大串と申します。たまたま、草加市立病院の看護師の皆さんが私達がみんなに何かできないかというはなしを持ちかけられまして、場所を探しておりました。場所を4月の第4土曜日に1回目をみんなの保健室というネーミングで開催したところなんと60人位いらっしゃいました。すごい大成功で第2回目を5月28日午後2時から開催されますので皆さん良かったら見に来てください。</p>
<p>司会</p>	<p>本日の内容は以上になります。 本日も長時間にわたり、ありがとうございました。</p>